# 温(あたた)かな真心を贈る

## “とよなか”への思いを寄附に込めて

「人と地域を未来につなぐまちづくり」を基本理念とする豊中市がめざすのは、「住んでよかった」と実感できるまち。

その創造のために、寄附を通じて“とよなか”のまちづくりを応援いただいている方々に、寄附に込められた思いをお聴かせいただきました。

### 子どもたちの教育にかける願い

マリンフード株式会社 代表取締役社長
吉村 直樹さん

新しい時代の主人公となる子どもたちの教育にと、新世紀を目前に控えた平成11年(1999年)から、毎年クリスマスのころにご寄附くださっています。代表取締役社長の吉村さんは、小学生のころから大の読書好き。文学青年時代に才筆の練磨で培った含蓄をもって社員研修に注力してこられた吉村さんなればこそ、やさしい心と強い意志を併せもった子どもたちの成長を願う気持ちはひとしおです。教育には手間ひまが求められるだけに、長い目で見守りながら、その成果を楽しみにしています。

平成26年からは、「マリンフード豊中少年野球場」などのネーミングライツパートナー(※)として、スポーツ振興にも貢献くださり、いわば文武両道での子どもたちのすこやかな育ちを支えていただいているのです。

教育振興基金へのご寄附は、子どもたちの「未来を切り拓(ひら)く力」をはぐくむ学力向上の支援や、市外先進地域での教職員の研鑽(けんさん)などに役立てさせていただいています。

※「豊中市ネーミングライツ事業」では、市の施設等に事業者の愛称を付与。施設管理費用の一部をご負担いただくとともに、地域活性化に資する事業にも取り組んでいただいています。

子どもたちの学びの充実を願う吉村さん。

学力向上への取り組みに熱気を帯びる教職員研修。

庭の果樹にも丹精のぬくもりを注ぐ鹿島さん。

エレベーターが更新された服部介護予防センター。

### 寄附に感謝の思いを託して

鹿島 桂子 さん

結婚を機に豊中市で暮らすようになって57年を数える鹿島桂子さん。ご自身が高齢期にさしかかったころから、市の高齢者福祉に役立てたいと、毎年お誕生日の時期にいただいているご寄附は20回に達します。

7か月の未熟児で生まれ、手厚い養育環境をもたらしてくれた人々の恩を大切にするよう、お父様がしばしば鹿島さんに言い聞かせていたといいます。自由に活動させてくれるお連れ合いへの感謝のうちに、中学校PTA、古文書(こもんじょ)読解の同好会、17年間に及ぶ民生委員など、地域で幅広く活躍してこられましたが、この20年ほどは何度も大病に見舞われました。

何とか健康を取り戻した時に、書の先生から贈られた書作品の「今こうして生きていることに感謝したい」という言葉が鹿島さんの座右の銘となっています。そんな思いを込めた社会福祉事業基金へのご寄附は、高齢者関係施設の整備などに活用させていただいています。

## お礼に高校野球発祥の地“とよなか”の記念品を

平成30年の夏の高校野球・第100回記念大会を控え、高校野球発祥の地“とよなか”にちなんだ記念グッズを、平成29年度にご寄附くださる皆様へのお礼としてご用意しています。　(詳しくは、市ホームページでご覧いただけます。)

発行／平成29年(2017年)3月　〒561-8501大阪府豊中市中桜塚3丁目1番1号　豊中市 都市活力部 魅力創造課　☎ 06-6858-2863